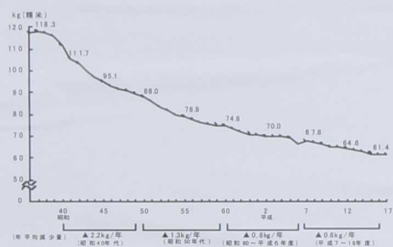


お米

大調査

皆さんが主食としている「お米」。お米の事を知りたくありませんか？この大調査ではお米の消費量だけでなく人気のお米についても調査しています。(グラフになっています) また、お米は加工で美味しく作られているのを知りました。この大調査を見た方もお米に興味をもつ、もっと「好き！」と言えるようになってほしいです。また最後にお米の産地もあわせて見てください!!

図 I-1 米の消費量の推移 (1人1年当たり供給量)

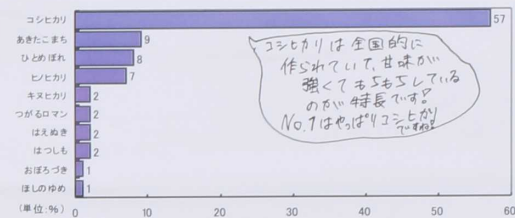


約50年間のうちに日本人の1人あたりのお米の消費量は半分に減り、代わりに小麦や麦類を食べるようになった。この表のほとんど消費量が下がってきているのを見て思いました。日本人は米ばかり食べているようです。

資料：農林水産省「食料需給表」

注：1) 年間の国内の食料消費量として仕向けられた数量を総人口で除した値であり、飼料用、種子用、加工用(酒類、みそ等)の米は含まない。なお、加工米飯、もち、米菓、米穀粉は含んでいる。
2) 17年度の値は概算値である。

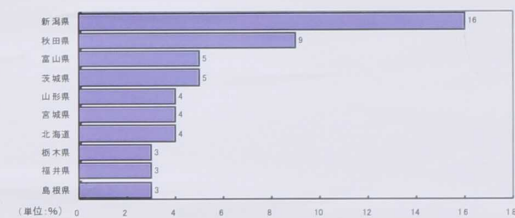
図 I-10 決めている米の上位10品種



コシヒカリは全国的に作られていて、甘味強いので美味しい。No.1はやはりコシヒカリです。

資料：農林水産省「食料品消費モニター調査」(19年3月調査速報値)

図 I-11 決めている米の上位10産地



資料：農林水産省「食料品消費モニター調査」(19年3月調査速報値)

この2つの表のように買う種類を決めている人たちが選んでいる一番多いものはコシヒカリで、産地を決めている人たちの一番多いのは新潟産でした。多分皆コシヒカリをイメージしていたような結果だ。たと思われます。(たしか生産量が多いと聞いていた上、新潟以外に少なく(図I-11)驚きました。やっぱり新潟ですね!!

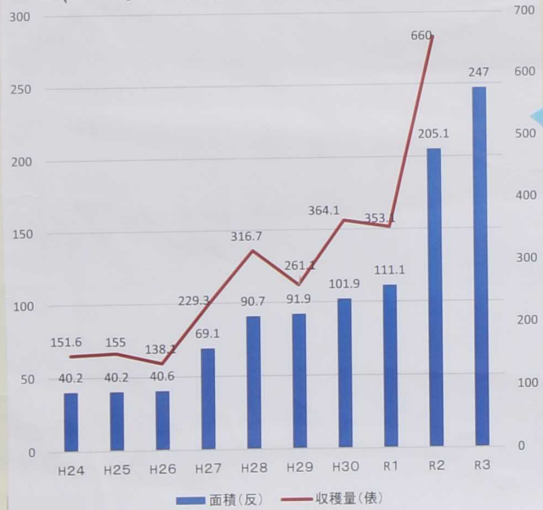
図 I-9 購入(入手)している米の産地・品種銘柄を決めているか



資料：農林水産省「食料品消費モニター調査」(19年3月調査速報値)

ちなみに日本のお米の品種の数は国に品種登録されている数が約400品種あり、主食用として多く作られているのは約30品種くらいです。
(2019年12月31日時点) 農林水産省「品種登録ホームページ」
「令和2年産産地品種銘柄一覧」

最近10年間の新潟の秀明自然農法水田の実施面積と収穫量の推移



この上の図(棒グラフ)を見た、やはり人気なのは新潟のコシヒカリだと分かります。ちなみに私の出身は新潟です。そこで父が秀明自然農法という無肥料無農薬のお米作りを営むための仕事をしていて、その父が現在までの新潟での秀明自然農法の田んぼの状況をグラフにしたので、お米に追加しました。
年々農家さんが増え、田んぼの面積も増え、収穫量も増えているようです。しかしお米が全く足りていないようです。私は秀明自然農法が発展し、多くの方がこのお米を食べられるようになってほしいと思います。
私の父が作るのはこの自然米です!

〈秀明自然農法とは?〉
秀明自然農法とは無肥料無農薬で自家採種の種で育てられたお米や野菜果物など...安心食材です。(お米や野菜果物など...)安全でとても美味しいので、小さい子供からお年寄りの方まで安心して食べることができます。愛情を生産者さんがかたぷり注いでいます!

〈ふり返り〉
お米のことを調べてみて、もっと興味をもって、もっと調べてみたいと思いました。また、調べてみて意外だったところもありました。けれど一番びっくりしたのは下(ふり返りのグラフのどけり)のグラフです。説明したように、ほとんど右かた上から上から、アのを見てから下になりました。世の中のグラフにした自然米を食べたい方々から!!